

第 21 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 2 年 12 月 11 日 (金曜)		午前 9 時 30 分 開会
	休憩 10:00-10:15、10:45-11:00、11:07-11:15、11:29-11:31、		
	午前 11 時 34 分 閉会		
会議場所	役場 3 階 第 1 委員会室		
出席委員 氏名	委員長 梶澤 幸治 副委員長 中村 和宏 委員 正村紀美子 委員 鈴木 健充	委員 立川 美穂 委員 渡辺洋一郎 委員 常通 直人	
欠席委員 氏名			議長 早苗 豊
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 仲野 裕司	主査 上田 瑞紀	

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開会

- 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議件

(1) 協議事項

- ア 令和 2 年 芽室町議会定例会 12 月定例会議の運営について
- イ 議会だより 1 月号の編集について
- ウ 芽室高校生徒との意見交換について
- エ 議会ホットボイスについて

資料 1
当日資料 2
資料 3
追加資料 4

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程(予定)について
- (2) その他

2 議件 (1) 調査事項

- ア 令和 2 年 芽室町議会定例会 12 月定例会議の運営について
- ・中村副委員長：資料 1-2 説明。
- ・委員長：提案予定事項について説明あったが、質疑は。
(質疑無し)
- ・委員長：次に審査方法等について説明を。
- ・中村副委員長：資料 1 説明。
- ・委員長：2 の審査方法について。

資料 1

(異議なし)

- ・委員長：以上、記載のとおり決定としたい。

イ 議会だより 1月号の編集について

【当日資料 2】

- ・立川委員：編集途中の資料を説明。

- ・委員長：質疑、意見等は。

(質疑無し)

- ・委員長：この内容で進める。

ウ 芽室高校生徒との意見交換について

【資料 3】

- ・事務局長：資料説明。

- ・委員長：質疑等は。

・正村委員：グループ分けについて、生徒の最小人数が 6 人であれば、3 グループでの進行を考えておくべきではないか。

・委員長：他にないか。資料の 3-2 に班編成が掲載されているが、これを見ながら議論をしていきたい。生徒さんが最大 10 人、1 年生が 6 人ということで聞いているが、グループ編成について意見をいただきたい。

・常通委員：新聞局の活動の一環であり、人数的にも少なくなっていくことを考えていると 3 グループがよろしい。

・鈴木委員：4 グループだと生徒が各グループに 2 人ということになってしまうことがあるので、3 グループで、1 グループに生徒が 3 人程度入る方が良い。

・委員長：人数を考えると 3 グループが良いという意見であったが、3 グループによる開催としていくことで良いか。

(異議無し)

・委員長：では 3 グループとする。また、班の編成であるが、どのように組むか。PTA との意見交換で使っている 3 班体制でいくのかどうか。

・中村委員：すでにグループ分けしている体制がある。今までのチームでもあり、相談もしやすいことから、PTA の班体制で行えればと。

・委員長：PTA 意見交換の体制としたいが。

(異議無し)

・委員長：PTA 意見交換の班体制とする。次に、事前配布資料について不備などあれば。

(意見無し)

・委員長：この資料を配布する。次に、当日の説明資料、進行資料について。

(意見無し)

・委員長：この資料を使用する。それと、15 日に全議員で事前にミーティングをしていくが、役割分担をしっかりとしていきたいが、当日として進行役、記録を考えられるが、各グループ内で決定していくことで良いか。それ以外に役割があるか。

・正村委員：進行、記録は各班共通。そのほかは、各グループ内の役割にお任せしてよろしいのではないか。

- ・委員長：進行、記録は各班共通。そのほか必要あれば、各グループ内に任せたい。
- ・正村委員：オンラインの練習の開始時間は。
- ・委員長：一般質問終了後となる。
- ・立川委員：終了後で了解であるが、自宅にもどる余裕があるのか。
- ・委員長：当日は、終了が遅くなることも考えられる。議場などに集まることも考えられるが、自宅に戻られる必要があれば、そのようにもしたいが意見を。
- ・常通委員：各グループで実施してはどうか。
- ・立川委員：15日は高校生徒の意見交換であり、事務局がホストになり全体の練習になる。庁舎内のどこかで練習できると良いと考える。
- ・委員長：15日は、全体の進行シミュレーションになり重要であり。事前説明など、手順を確認したいもの。できれば、皆さんと同じような場にいる中で行っていく、何かあれば対応する、というやり方で、全体で行っていきたいが。
- ・中村委員：委員長の方向で良いと考える。全体規模のミーティングは初めてであり、時間も限られているが、課題があればその場で解決できるようなことで。
- ・委員長：当日に向けた総練習であり、できれば議事堂内で、全議員で行えればと。(異議無し)
- ・委員長：全議員で、議事堂内で実施していく。

エ 議会ホットボイスについて

追加資料4

- ・委員長：寄せられたホットボイスについて協議したい。まず、取り扱いについて。
- ・常通委員：取扱基準に照らして取り扱っていくこととすべき。
- ・委員長：他に意見なければ、ホットボイスとして取り扱うものとする。次に、回答についてどのようにしていくか。
- ・委員長：メールでいただいた方には、返事をしてくべきであるが、議会だより、ホームページへどのようにしていくか。
- ・常通委員：ホームページは公開していくことでよい。この定例会議中でも合同委員会などがあることなどかた、タイムリー性を考えると、本人への回答だけで、議会だよりには掲載しなくても良いのでは。
- ・立川委員：コロナに関する町民の不安などはまだ続くと考えることから、今時点での議会の取組みをお伝えする点では、議会だよりに掲載するべき。
- ・常通委員：議会だよりに掲載する案ができるまでは、本人には回答しないということか。
- ・立川委員：本人への回答と、議会だよりへの回答掲載は別ではないのか。回答が異なるのか。
- ・常通委員：回答が異なることはない。速やかに回答すべきということでタイムリーという言葉を使ったが、議会だよりに載せることではなく本人への回答を第一に考えて、議会だよりにはタイムリー性を考えて掲載しなくても良いと考える。
- ・委員長：厚労省の7つの取組み、PCRだけでなく他の取組みもあるが、すべてに対応するとなると時間もかかる。町の検討ということになると所管の案件になる。まず、確認であるが、議運として回答していくということは良いか。

(異議無し)

- ・委員長：回答が決まった時点で、メールをいただいた方にも回答していくということ。PCRのみなのか、対策全体なのか特定できないことから、議会としては、これまで行ってきたコロナ対策について回答していくことが良いとは思うが。
- ・立川委員：回答内容はまだ申し上げていないが、ホームページ掲載、本人への返答の回答が決まった時点からできるものは行って、議会だよりは本人への回答から遅れるが、町民へ知っていただくためにも掲載していくことが良い。
- ・委員長：まずメールをいただいた方への回答をスピーディに行っていくのか、それともホームページ掲載などの回答を作った時点で回答していくのか。
- ・常通委員：議会だよりへの掲載の意見は理解した。そうなると2月号か3月号か。1月号ではないのか。
- ・立川委員：掲載できるタイミングであれば良い。1月号のスペースが厳しいのであれば2月、3月ということもある。
- ・委員長：現時点での議会が行ってきたこと、今後行うこと、コロナ対応が町民に見えていない点があるかもしれない。今後、コロナ対策の特集を組んでいくことも考えられる。そうなると、現時点での回答は分けてもよいのではないか。
- ・立川委員：変化はあるもの。その際には、こうした変化があったということを掲載することもあって良い。そうすることでタイムラグを解消できるのではないか。
- ・委員長：変化に応じて回答を変えていくということか。
- ・立川委員：○月○日時点でこのように回答しているが、現時点ではこのようになっている、などの回答もあり得る。
- ・中村委員：この方に対する回答がその都度ということにはならない。今話しているのは、議運としてどうするか、ということ。所管あるいは合同委員会が、ということしか伝えられないが、その点は早急に行わなければいけないのではないか。その後のことは、所管の議論などいろんなことでやっていかなければならない。今までの議論、これから起こる議論、そういうものを。
- ・立川委員：情報公開という観点で、あらゆる媒体で公開していけばよいということである。ホームページを見られない町民もいることから、できるだけ多くの方に見ていただけるように。1か月少々のタイムラグは生じるが、こうした回答をしているということで、紙媒体にも掲載していくべき。
- ・委員長：確認である。状況が変われば新たな回答をという意見もあったが、過去にはそのようなことは一度もない。1回の回答で行っていくことを確認したい。他に意見は。
- ・渡辺委員：この方に対する回答を考えていくわけであるが、今議会が取り組んでいること、これから取り組んでいくことを示していくことを回答するのであれば、タイムリー性はないのではないか。いつ掲載しても良い。まずは本人へ、ンホームページへ。そしてスペースがあれば2月号に載せていく方向で。
- ・鈴木委員：意見をいただいた方へ、きちんと対応すべき。中村委員の考え方と同じであるが、出た意見をきちんと返答することが大前提。議会だよりもホームページも。このメールで大事なところは、「町民の命を守る姿勢を」という点。PCR

検査だけではなく町も動いている点がある。今後も続けていくものである。これは早く回答できるのでは。

- ・正村委員：議会だよりは掲載してよい。町民の関心は町のコロナ対策に対して高いものがある。同様の疑問を持つ町民に向けて公開することは良い。議会としての方針心を示す内容で良い。
- ・委員長：議会だより掲載となると早くても2月号になるが、タイムリー性は考えなくとも載せていく。直ちには本人への回答、ホームページとなるが、議会だよりは2月号でもよろしいか。
- ・立川委員：それで良い。タイムラグが生じるような内容にはならないと考えるので、2月で良い・
- ・委員長：確認であるが、すべて内容は同じものを回答していくものである。それで、回答は議運で回答していくことになる。議会としての取組みを重視した内容になる。スピーディな回答、ホームページへは速やかに掲載する。
- ・常通委員：議会だよりには、皆さんの意見から、2月号以降でも良い。回答は、速やかに回答していくべきであるのでできれば今日、ある程度回答案を作って速やかに返すべき。
- ・委員長：議会だよりには期間を空いても掲載していく。回答は、本日、回答を作成していきたい。
- ・委員長：回答案を作成したのでご覧いただきたい。この案についてご指摘あれば。
- ・立川委員：内容の異論はない。言葉の使い方で、「今後とも」は「引き続き」のどちらかを省いても良いのでは。また、4行目は「引き続き」ではなく「継続して」などの修正としてはどうか。
- ・正村委員：下から3行目、「町民の皆様に信頼される議会と議員像」というところに違和感ある。「と議員像」は不要ではないか。
- ・委員長：「と議員像」については毎回使っている言葉であるが。
- ・渡辺委員：町民の命を守る姿勢というところで、もう少しあっても良いのかなと。「今後」の後に、「町民の暮らし、感染拡大防止と社会活動の両立を目指して」など議会としてのメッセージを記載しても良いのではないか。
- ・委員長：修正案をお示している。意見をいただきたいが。
(異議無し)
- ・委員長：この内容で決定したい。
- ・中村委員：この議会だよりの掲載について、掲載が遅くなることによっていろんなことが出てくるのではないか。メールの返信、ホームページの掲載、スピード感を持つなら1月号にも掲載するよう検討願えないだろうか。
- ・鈴木委員：今の意見、出来るだけ、可能であれば掲載をした方が良い。
- ・立川委員：その方向で掲載したいとも思う。意見をいただきたいが、全8ページの空白部分などを要約しながら、など意見があれば。例えば、文書質問は、全文掲載を要約しQRコードでホームページに飛ぶなど。
- ・委員長：議運として、基本的に1月号に掲載していくということで確認して良いか。事務局と編集委員の中でホットボイスを載せるスペースを作っていくことで。

(異議無し)

- ・委員長：ホットボイスは1月号に掲載する。

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

- ・12月24日（木） 9時30分

(2) その他

①議会議員研修会について

その他資料1

- ・事務局長：江藤サポーターの研修会について、周知範囲、会場の対策の概要の資料説明。
 - ・委員長：まず参加周知の対象者は提案で良いか。
- (異議無し)
- ・委員長：次に聴講の場所について、
 - ・常通委員：休憩を。
 - ・委員長：休憩を取り消し、再開する。引き続き意見を。
- (意見無し)
- ・委員長：この提案で進める。

② ホットボイスへの対応について

- ・渡辺委員：今回のホットボイスメール、すぐに返信できるが、受診してすぐに、議運などで協議する旨のレスポンスをしていけばよいのではないか。
- ・委員長：現状は。
- ・事務局長：受信確認と取扱いに関する返信は行っている。

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	1名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和2年12月11日

議会運営委員会委員長 梶澤 幸治